

# 周防大島中学校 研修通信

vol.15

## 研修の振り返り

修了式まで残りわずかとなりました。通知表や要録の作成がこれから本格的に始まりますが、ラストパートで頑張りましょう。今回の研修通信は、先日協力いただいた研修の振り返りアンケートから、令和7年度の研修を振り返りたいと思います。

### 1、今年度の担当教科における授業の導入について

#### 成果

- ・各スポーツの一番楽しい動きやプレーから練習を始めることで意欲的に授業に取り組む生徒や自ら課題を発見し、解決しようとする生徒が増えた。
- ・自立活動では、生徒の最近のできごと（学校・家庭）から話を聞き、関係を築くことができた。
- ・プレゼンを使ったときにはうまくいったことがありました。
- ・前時の既習内容の振り返りプリントから入っており、本時の内容につながりをもたせることができた。
- ・ICT を活用したり、具体物を提示したりすると反応が良かったように感じます。数学は概念的な面が強いので、イメージができていないと理解しにくいです。ICT や具体物があると、そのイメージができるので授業に参加しやすくなったのではないかと考えます。
- ・「概念形成」をキーワードに授業を展開し、覚えるだけではない。教科の楽しさを伝えることができた。
- ・前時の復習として、導入に5問解くということができた。
- ・日常生活に関する生徒の興味・関心をひく内容を提示した。
- ・小テストの継続や前時の復習ができる活動を積極的に行うことで、単元への理解度が深まった。また、単語の復習をタブレットで行うことで生徒たちが意欲的に参加できた。
- ・先生方、それぞれの授業に工夫もし、苦心もされていると思います。落ち着いた授業が展開されています。何寄りの成果です。

#### 課題

- ・課題を解決するために必要な知識量や技能差に応じた個別指導がむずかしかった。
- ・ソーシャルスキルやアンガーマネジメントが難しい。
- ・毎回導入を工夫するには無理がありました。
- ・関心の低い生徒の関心をひくことに課題を感じている。
- ・全ての授業で具体物が用意できるわけではないので、そのとくの導入の工夫が必要だと感じました。準備も時間がかかるので、パターンを決めてできるだけ多くの授業でICTを活用していきたいと考えています。
- ・ICTの活用があまりできなかった。
- ・生徒がより主体的に参加できる題材。
- ・タブレットに関しては、毎回行うには指導が必要で難しい。また切り換えに時間がかかる。
- ・どんな導入であれ、真摯に受ける生徒を育てたいと思います。授業は積極的受動だということを若い先生方をお願いしたいところです。

## 2、1年間実践してみて、効果的な導入とは、どのような導入だと思いますか。

- ・「何それ!やってみたい!」と生徒が感じる導入
- ・誰もがやってみたくなるような気持ちをひきつけるような導入
- ・ICTを使う導入かなと思います。
- ・本時の内容に安心して入っていけるように導入が重要である。
- ・その1時間で何を学べばよいか何を身に付ければよいか分かる導入。
- ・生徒全員が学力に関係なく引き付けられるような導入。
- ・前時の復習を問題形式で行う。
- ・どんな生徒でも答えられる簡単な問い。
- ・生徒が「学びたい」と思える。参加したいと思えるような工夫がされている導入。
- ・教材にひきつける導入、これが1番かなと思います。

今年度は、「授業参加」に焦点をあて、導入について研修を深めました。日々の授業の実践の中で、生徒を引き付ける導入のヒントを見つけることができたのではないかと思います。アンケートでは、ICTを使った導入について書かれている先生も多くおられました。視覚優位な生徒が多くなってきた現在において、電子黒板やタブレットなどのICT機器を有効活用し、魅力的な導入を仕掛けていくことが今後よりいっそう求められてくるのではないかと思います。

導入にもいろいろなタイプがあります。具体物やICTで生徒を引き付ける導入、前時を振り返り、本時の理解を助ける導入、小テストや簡単な問題で生徒の「できる」を実感させることで自信をもって授業に臨ませる導入など様々です。成果と課題を共有し、来年度も1時間1時間の授業の中で、より適した導入を考え、一人でも多くの生徒が主体的に授業に参加できる授業づくりをめざしていきましょう。

以下は、令和8年度に取り組みたい研修として出てきたものです。全てに取り組むのは難しいかもしれませんが、来年度も、一致団結して研修を深めていきましょう。1年間ご協力ありがとうございました。

## 3、令和8年度に取り組みたい研修内容を記入してください。

- ・道徳関係 ・道徳科の授業研修
- ・特別支援教育を柱としたユニバーサルデザイン、PBSの効果的な取組
- ・特別支援教育に関する取組
- ・「やる気のある生徒の力を伸ばす授業」と「やる気のない生徒にやる気をださせる授業」の共存について難しさを感じているので、そのような内容の研修があるとよい。
- ・効果的なICTや生成AIの活用について
- ・学級経営、起業家教育について
- ・主体的・対話的で深い学び、アクティブ・ラーニング
- ・一人一授業公開で、全員で一授業研究を実施する。